

公益社団法人日本バリュー・エンジニアリング協会

2016年度事業概況報告書

(2016年 4月 1日から2017年 3月31日まで)

概 況

2016年度の我が国経済は、設備投資や輸出、生産が持ち直しているほか、企業収益の改善が持続して10～12月期の経常利益が過去最高を更新する等、総じてみれば緩やかな回復基調が続きました。この基調は、海外経済の不確実性や金融資本市場の変動がマイナス影響を及ぼすリスクがあるものの、円安による企業収益の上振れ、製造業における在庫調整の進展、都心部での再開発や宿泊施設など非製造業の建設投資等が景気の下支えに作用し、今後も続く見込まれております。(参考資料：内閣府「月例経済報告」等)

その一方で、我が国は生産年齢人口や国内生産拠点の減少という問題を抱えております。

15歳から64歳までの生産年齢人口は、1995年の8,700万人をピークに減少の一途を辿っており、2016年には7,600万人となりました。将来的には2030年に6,800万人、2050年に5,000万人となり、2060年には4,500万人を割ることが予想されております。

また、国内生産拠点についても、円安や海外での生産コスト上昇等を背景に数年前から海外移転工場の国内回帰という動きが一部の大手メーカーにみられ、この動きは今後も一部で続く可能性もあるとのことですが、新興国の市場としての魅力や、市場に近い国での“地産地消”が定着していること等を考えますと、いずれまた減少に転じるものとみられております。

以上のような状況下、本会では、企業からの依頼に応じて実施する①「VE活用支援(出前講座及び講師派遣)」の受注増や②新市場開拓のための「海外展開」、③VE適用領域拡大のための「サービス分野及び教育分野へのVE導入」等に重点を置いて事業を行ってきました。

出前講座の実施及び指導講師の派遣については、受注のための活動を積極的に行った結果、出前講座・講師派遣とも前年度を上回る件数の受注をいただくことができました。このほか、講座では「VEの基礎・通信講座」や「バリュー・マネジメント実践塾」等が受講者数を伸ばしております。

海外展開については、中国、タイ、フィリピンで普及活動を行ったほか、タイ・中国に続いて韓国でもVEリーダー認定試験が行えるように準備を進めてきました。

教育分野へのVE導入については、「京都大学サマーデザインスクール」でワークショップを行ったほか、VE全国大会で「VE&ESD(持続可能な開発のための教育)フォーラム」を実施しました。また、ESDを推進している公益社団法人日本ユネスコ協会連盟と共同でESDへのVE導入について協議し、その手段としてアクティブ・ラーニングへのVE導入についての検討も行いました。

2017年度は、上記3つの活動に継続して注力するほか、一大イベントとして「第6回VEアジア大会」と「第50回VE全国大会」を同時に開催する予定です。マイルズ氏がVEを創始してから70年という節目の年に国際交流を促進し、アジアにおける日本のVEのプレゼンスを高める機会にもしたいと考えております。

1. 講座

1) VE基礎講座の開催

	第1回	第2回	第3回	第4回
開催日	5月26日～27日	6月16日～17日	6月23日～24日	7月28日～29日
会場	日本VE協会	新大阪丸ビル	日本VE協会	日本VE協会
受講者	13名	12名	21名	18名

	第5回	第6回	第7回	第8回
開催日	7月28日～29日	9月15日～16日	11月17日～18日	11月24日～25日
会場	新大阪丸ビル	日本VE協会	日本VE協会	新大阪丸ビル
受講者	15名	28名	19名	19名

	第9回	第10回	第11回	第12回
開催日	11月28日～29日	12月13日～14日	12月15日～16日	3月9日～10日
会場	日本VE協会	日本VE協会	新大阪丸ビル	日本VE協会
受講者	10名	9名	12名	27名

2) 「バリュー・マネジメント実践塾」各種講座の開催

(1) 「テクニカルスキルコース」の開催

	業務革新のための ソフトVE	事業戦略をデザインする 企画段階のVE	生産性と効率化を目指す 建設のためのVE
開催日	6月9日～10日	7月4日・5日・11日・12日	7月25日～26日
会場	日本VE協会	日本VE協会	日本VE協会
受講者	10名	7名	5名

	アイデア発想で活用できる 創造カトレーニング	開発設計のVE	VEブラッシュアップ
開催日	8月4日～5日	8月22日～23日	10月3日～4日
会場	日本VE協会	日本VE協会	日本VE協会
受講者	7名	10名	21名

(2) 「ビジネススキルコース」の開催

	社内研修効果を高める インストラクション技術	独創的なアイデアを生み出す TRIZをVEで活用する方法	行動と結果を引き出す 会議力向上
開催日	7月1日	7月19日	8月1日
会場	日本VE協会	日本VE協会	日本VE協会
受講者	10名	7名	5名

	プロジェクトマネジメント の基本	考えるスキルの基本
開催日	9月5日	10月13日
会場	日本VE協会	日本VE協会
受講者	6名	18名

(3) 「アドバンスコース」の開催

	VEチームを価値創造集団へと導く ファシリテーション力	VEの原点的思考 (機能分析中心)	VEを組織的に適用するための マネジメント
開催日	7月14日	8月3日	8月19日
会場	日本VE協会	日本VE協会	日本VE協会
受講者	6名	6名	9名

	経営者を納得させる VE提案書の書き方
開催日	9月1日
会場	日本VE協会
受講者	3名

3) その他研修会等の開催

(1) VE関連セミナーの開催

① スキルアップセミナーの開催

	VES受験直前 勉強会	論文執筆入門	特許の基礎知識と 特許的思考法
開催日	11月1日	2月3日	2月22日
会場	日本VE協会	日本VE協会	日本VE協会
受講者	13名	5名	9名

② Web スクールの開催

	具体例でしっかり学べる 改善マインド入門	VE事例動画集
受講者	2名	2名

(2) 「VEの基礎」通信講座の開講

地理的・時間的な都合等で通学講座の受講が難しい人にも、VEの基礎を学び、VEリーダー（VEL）資格認定試験の受験資格を取得できる機会を設けること等を目的に開講し、78名が受講。

(3) VEコンサルタント養成講座の開催

開催日	10月8日、11月5日 11月26日、12月10日
会場	日本VE協会
参加者	5名

(4) 西日本支部（中四国・九州地区）でのVE塾の開講

① VE塾の開講

地区名	メンバー	研究内容
九州地区 広島地区	6名 18名	製品VEや作業VEを実際に役立たせる ための進め方やポイント。

② 成果発表会（VEの基本と実践セミナー）の開催

	九州地区	広島地区
開催日	12月 2日	3月 3日
会 場	西部電機(株) 本社	マツダ(株) 本社
参加者	24名	76名

(5) 西日本支部（東海地区）でのVE技術情報交流会の開催

開催日	6月10日	9月 9日	2月10日
会 場	イオンコンパス 名古屋駅前会議室	イオンコンパス 名古屋駅前会議室	イオンコンパス 名古屋駅前会議室
参加者	12名	13名	9名
内 容	これならできる 攻めの原価企画守りの原価企画	VEとQFDの融合による モジュラーデザイン	これならできるワンランク上の 研修インストラクション術

(6) CVSによるVE技術者育成の支援【「CVSフォーラム委員会」の開催】

	開催日	出席者	主 な 内 容
第105回	4月15日	7名	① 『CVSフォーラム』総会の振り返り ② 2016年度の具体的活動について、など
第106回	5月19日	7名	① 商店街活性化プログラムについて
第107回	6月14日	7名	① 商店街活性化プログラムについて
第108回	7月13日	6名	① 商店街活性化プログラムについて
第109回	8月25日	8名	① 商店街活性化プログラムについて ② 『CVSフォーラム』2017年度活動テーマ募集について
第110回	9月13日	7名	① 商店街活性化プログラムについて ② 『CVSフォーラム』2017年度活動テーマ募集について
第111回	10月14日	8名	① 商店街活性化プログラムについて ② 『CVSフォーラム』2017年度活動テーマ募集について
第112回	11月16日	5名	① 商店街活性化プログラムについて ② 『CVSフォーラム』2017年度活動テーマ募集について
第113回	12月16日	6名	① 商店街活性化プログラムについて ② 『CVSフォーラム』2016年度総会について、など
第114回	1月18日	7名	① 商店街活性化プログラムについて ② 『CVSフォーラム』2016年度総会について、など
第115回	2月24日	7名	① 商店街活性化プログラムについて ② 『CVSフォーラム』2016年度総会について、など
総 会	3月24日	19名	① 新CVSの紹介 ② 2016年度及び2017年度の活動について、など

(7) 公共機関でのVE技術者育成の支援

行政機関等で構成されている「全国設計VE推進研究会」が11月16日に広島市で開催したVE発表会にVE専門家を派遣する等、公共機関におけるVEの技術者教育を支援。

(8) 教育機関におけるVE導入・普及

- ① 大学におけるVE教育への支援を実施。
- ② 教育分野へのVE導入の一環としてESD（持続可能な開発のための教育）へのVE導入について公益社団法人日本ユネスコ協会連盟との共同プロジェクトを立ち上げ、教育関係者を対象としたVE体験ワークショップの実施を企画（先方の都合により実施は来年度に延期）したほか、京都大学サマーデザインスクールでワークショップを実施、VE全国大会で「VE&ESDフォーラム」を開催。また、アクティブ・ラーニングへのVE導入について検討を行った。

(9) 海外でのVE導入・教育の支援

- ① 上海VE協会が主催するVE基礎研修及び無料のVE普及セミナーの実施等を支援。
- ② JETRO（日本貿易振興機構）バンコク事務所からの依頼に応じ、「日タイ経済連携協定に係る自動車人材育成事業」の一環で行われたVE研修の講師を紹介し、11月6日～26日に派遣。
- ③ フィリピン国家経済開発庁からの依頼に応じ、食糧安全保障プロジェクトで灌漑用水に関するVEの実践指導をする講師を6月1日～3日に派遣。

(10) 「経営者フォーラム」の開催

開催日	5月11日	9月1日	3月17日
会場	アイビーホール（青学会館）	アイビーホール（青学会館）	アイビーホール（青学会館）
テーマ	リコーの経営革新とVE	スポーツ指導現場の「伝える力」	パナソニックのVE取組み
参加者	14名	20名	19名

2. 資格認定

1) 資格認定制度の整備・体系化

米国VE協会が予定している“CVS資格認定制度変更”の経過として6月時点の基本方針と実施計画を和訳し、協会Web Siteで公表。

2) 資格認定試験の実施

試験名	実施日	会場	受験者	合格者
第41回 V E L 認定試験（前期）	4月18日 ～ 7月31日	全国約200箇所	1,038名	804名
第42回 V E L 認定試験（後期）	9月1日 ～ 2月28日	〃	2,030名	1,534名
第19回 VESスペシャリスト（VES）認定試験	12月3日	東京・名古屋 大阪・福岡	63名	21名
第37回 CVS（Certified Value Specialist）認定試験	10月1日	東京・大阪	12名	4名

※ 第42回VE L認定試験の受験者数及び合格者数には、中国での受験者22名及び合格者20名と、タイでの受験者12名（合格者なし）が含まれています。

3) V E L有資格者の継続教育【フォローアップ研修の開催】

開催日	4月 22 日	12月 8日
会 場	日本V E 協会	日本V E 協会
テーマ	これならできる テアダウンの活用	図面を使った 簡易V E
参加者	7名	16名

4) 「バリュー・コンピテンシー」誌の編集・発行

総合的なスキルアップとキャリア形成を支援する情報誌「バリュー・コンピテンシー」の電子版を季刊で4回発行し、V E LのA登録者等に配布。

5) 「バリュー・エンジニアリング（V E）」誌の編集・発行

(1) 「V E 誌編集委員会」の開催

	開催日	出席者	主 な 内 容
第78回	7月 6日	11名	① 2016年度前期の編集実績と検討課題について ② 2016年度後期の編集企画と検討課題について、など
第79回	2月 1日	8名	① 2016年度後期の編集実績と検討課題について ② 2017年度の編集企画について など

(2) V E 誌の発行

第293号	第294号	第295号	第296号
5月 1日	8月 1日	11月 1日	2月 1日

6) 更新登録の実施

V E L、V E S及びC V S登録者の更新登録（V E L及びV E Sは終身登録を含む）を実施。

7) V E 専門家の紹介

協会Web Site内に「V E 専門家検索システム」という名称のデータベースを設け、登録を希望するC V S・V E S有資格者を広く紹介。

3. 講 習

1) 第49回「V E 全国大会」の開催

会 期	10月25日～26日【2日間】
会 場	アルカディア市ヶ谷
参加者	381名 (うち6名は米国、中国、インド、韓国、クウェートからの参加者)
内 容	表彰式、講演、V E 活動優秀賞受賞報告、V E 再考スペシャル対談、論文発表、事例発表、海外発表、特別報告、V E 再興フォーラム、建設V E フォーラム、V E & E S D フォーラム、V E 体験ワークショップ、ネットワーキング・パーティー等

2) 地域VE大会の開催（西日本支部 関西地区、中四国・九州地区）

	第48回 VE関西大会	第60回 西日本VE大会
開催日	2月17日	9月30日
会場	大阪国際交流センター	エソール広島
参加者	169名	38名
内容	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 講演 2件 ➢ 活動紹介 1件 ➢ 技法紹介 1件 ➢ 事例紹介 2件 ➢ フォーラム 2件 	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 講演 2件 ➢ 活動紹介 1件 ➢ 事例紹介 4件

3) VEセミナーの開催（西日本支部 関西地区）

	VE阪神セミナー	VE京滋セミナー
開催日	7月15日	11月18日
会場	クリエイション・コア東大阪	メルパルク京都
参加者	88名	82名
内容	<ul style="list-style-type: none"> ➢ フォーラム 1件 ➢ 事例紹介 3件 ➢ 講演 2件 	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 講演 1件 ➢ 活動紹介 1件 ➢ 事例紹介 4件

4. 研究開発

1) 組織体制の再編

- (1) 「バリュー・マネジメント・アカデミー（VMA）」を開催し、現在の組織体制の見直しを行った。

	開催日	出席者	主な内容
第1回	7月28日	5名	<ul style="list-style-type: none"> ① 今後の研究開発組織体制について ② 価値企画研究会』のレポートについて、など

- (2) 9月1日付で、VMAを発展的解消とし、新たに「バリューデザイン・ラボ」を設置。同組織においてVEの適用領域拡大のための先端的な研究課題を探索、自ら研究活動を行い、その成果を公表することとした。

2) 先端的・実務的研究及び調査等の積極推進

VMA設置の「価値企画研究会」において、中間レポートを纏めて協会Web Siteで公表するとともに、“価値企画”をテーマとした研究の継続について検討。

3) 各支部での実務的研究の推進

(1) 機能別部会での研究活動

① 東日本支部に下記の機能別部会を設置して実務的な研究活動を推進。

部会名	メンバー	研究内容
マネジメント部会	14名	新ビジネス構築手法・事業化について研究。新たな価値を創造する企業のトップインタビューも行う。
VE推進部会	27名	VE指針上の課題について参加各社のノウハウを持ち寄り、成功のためのポイントについて研究。
マーケティング部会	18名	マーケティング手法を学び、新たな価値を創造するためのツール開発と検証を行う。
R&D部会	24名	価値を創造する手法としてVE手法を進化させるべく、関連手法を含めた探究、研究、開発を行う。
ものづくり部会	37名	様々なものづくり現場に出向き、現地・現場・現物を確認し、最適な生産・調達のあり方を学ぶ。
社会インフラ部会	21名	「企業ケース検討会」と「建設VE研究会」に分かれ、社会インフラに関わる研究を行う。

② 活動報告会を開催して、上記各部会での取り組み内容や活動成果の一端を紹介。

開催日	3月6日
会場	日本経済大学大学院
参加者	79名
内容	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 各部会の活動報告 ➢ 特別講演

(2) 専門研究会での研究活動

西日本支部の中部地区と関西地区に下記の専門研究会を設置して、実務的な研究活動を推進。それらの成果については、VE資料又は成果発表会等で発表の予定。

② 東海地区

研究会名	メンバー	研究内容
中部建設VE研究会	14名	地域の実状にマッチした新たな時代の建設VE活動のあり方と「2時間VE手法」のさらなる洗練化。

③ 関西地区

研究会名	メンバー	研究内容
つかいやすいTRIZ研究会	33名	VE等を含めた管理技術としての幅広い視点によるTRIZの普及・活用法。
経営革新を生み出す活き活きVE研究会	107名	各社のVE推進や実践方法等の情報をもとにした、VEの効果的な普及方法と活用策。
実践原価企画研究会	23名	仕組み・制度やツール等、原価企画を実践するための具体的な方策。
VEツール研究会	29名	ソフトVE等、過去に開発されたVE手法の見直しと実践。
サービス領域でのVE適用方法研究会	12名	第3次産業での共通領域であるサービス領域において効果的にVE活動を進める方法。
価値分析研究会	17名	VEを企業経営の様々な場面でより適用しやすくするための研究

4) プロジェクト形式での研究及び検討活動

(1) “不利益&VE”の研究

① 「不利益&VE研究会」の開催

	開催日	出席者	主 な 内 容
第 6回	4月12日	3名	製品改善型アプローチの研究
第 7回	5月25日	4名	VEにおける機能と不利益の関係整理
第 8回	6月22日	4名	仮説検証、事例づくりのためのワークショップ企画検討
第 9回	7月13日	4名	ワークショップ実施計画の具体化
第10回	8月26日	4名	ワークショップ実施に向けた準備

② 研究の経過報告として、VE誌294号にVE論文「不利益という価値を導入した価値工学」を発表。

※ 9月1日付で、「不利益&VE研究会」をプロジェクト組織から「バリューデザイン・ラボ」が設置する研究会へと改組。

③ 「不利益&VE研究会」（「バリューデザイン・ラボ」設置）の開催

	開催日	出席者	主 な 内 容
第11回	10月18日	4名	研究の方向性検討
第12回	11月22日	4名	研究テーマの選定
第13回	12月26日	4名	対象テーマについての検討
第14回	2月 2日	4名	対象テーマについての検討
第15回	3月 2日	4名	2017年度活動内容の計画、対象テーマの検討

④ 「京都大学サマーデザインスクール2016」（9月7日～9日、京都リサーチパーク）にワークショップの実施者として応募。“ジュガード・イノベーションに学ぶ身近でFrugalな商品企画”をテーマにワークショップを実施。

(2) 海外調達拠点及び海外調達先との共同VEに関する研究

上海VE協会を実施主体とした「グローバル調達・共同VE研究会」を立ち上げ、6月にグローバル調達と共同VEをテーマにした講演会を開催。その後、同年8月の共同VE事例紹介を経て、具体的な実施企業を決定。現在、実施企業と共同VEを行うサプライヤー企業を選定、調整中。

(3) 公共事業におけるVMの研究及び普及促進検討

公共事業におけるVEの段階別適用やVE活用のための人材育成及び組織作りについての研究のほか、公共事業でのVE普及を促進させるための施策検討、情報発信等も行うため、VMA設置の『公共事業のVM研究会』を9月1日付で事務局所管のプロジェクト組織へと改組。

5. 表彰

1) 協会顕彰の実施

(1) 「顕彰委員会」の開催

	開催日	出席者	主な内容
第1回	8月18日	4名	① 協会顕彰（個人・グループ表彰）の審査 ② 協会顕彰（VE活動優秀賞）の審査、など

(2) 受賞者及び受賞企業等の表彰

次の各賞の表彰を第49回「VE全国大会」で実施。

VE 学術功績賞	① 澤口 学 氏	早稲田大学
普及功労賞	① 川上雄史 氏	(株)フジタ
	② 川崎俊一 氏	元(学)産業能率大学
	③ 小島 誠 氏	(株)北川鉄工所
	④ 福田浩章 氏	日本電子(株)
	⑤ 美濃部正 氏	三菱電機(株)
VE 活動優秀賞	① 三菱電機(株) 姫路製作所 殿	
	② (株)サイゼリヤ 殿	
	③ 富士フイルムエンジニアリング(株) 殿	

2) VE 研究論文及びVE 活動事例の審査・表彰・発表

(1) 「論文審査委員会」の開催

	開催日	出席者	主な内容
第1回	6月27日	8名	① 応募論文及び事例の審査、など
第2回	8月26日	6名	① 修正論文及び事例の審査、など

(2) 入選論文・事例の表彰・発表

次の各賞の表彰・発表を第49回「VE全国大会」で実施。

佳作論文	① 織田 昌雄 氏	三菱電機(株)
入選論文	① 大西 正規 氏	(有)大西マネジメント・ソリューション
	② 福崎 重隆 氏	三菱重工業(株)
	③ 市川 典弘 氏	三菱電機(株)
入選事例	① 山口 真史 氏	首都高速道路(株)
	② 小坂 部順 氏	日立建機(株)
	③ 佐々 松音 氏	MSバリューコンサルタント
	④ 永久 利夫 氏	(株)北川鉄工所

6. 情報資料

1) 研究成果の資料化

- ① TRIZを活用した発想強化VE－VEにおけるTRIZの実用的な展開方法－
(東日本支部 R&D部会 編) 5月10日 発行
- ② 組織マネジメントのパフォーマンスを向上するバリュー・マネジメントに基づく
価値企画の進め方について (VMA 価値企画研究会 編) 9月 1日 発行

2) その他資料の発行

第49回「VE全国大会」VE研究論文集及び資料集 (電子版) 10月25日 発行

3) VE研究論文等のネット販売

- (1) 電子化した過去のVE研究論文を協会Web Site内に開設したVE研究論文検索・購入サイト「VE論文navi」で販売。
- (2) 演習用のワークシート類を整理し、協会Web Site内の資料・図書販売サイト「オンラインショップ」で個別又はセット販売。

7. VE活用支援

1) 出前講座の実施

No.	開催日	受講者	内容
1	4月27日～28日	13名	VEの基礎
2	5月11日～12日	33名	〃
3	5月16日～17日	20名	〃
4	5月26日～27日	29名	〃
5	6月 6日～ 7日	30名	〃
6	6月18日～19日	12名	〃
7	9月 6日～ 7日	10名	〃
8	9月15日～16日	29名	〃
9	10月13日～14日	20名	〃
10	10月17日～18日	20名	〃
11	12月14日～15日	13名	〃
12	1月19日～20日	19名	開発設計のVE
13	1月24日～25日	25名	VEの基礎
14	2月 3日～ 4日	30名	〃
15	2月 6日～ 8日	12名	〃
16	2月13日～14日	25名	〃
17	2月23日～24日	20名	開発設計のVE
18	2月24日～25日	30名	VEの基礎
19	3月22日～23日	14名	〃

2) 指導講師の派遣

依頼に応じて6社に講師を派遣し、VE導入又は実践の個別指導を実施。

3) VE未導入企業へのアプローチ

VE未導入企業が相談をしやすくなるようにするための一方法として、【改善度】チェックシートを作成し、協会Web Site内に掲載。同Web Site内で改善度についてのセルフチェックと簡単なアンケートを実施。

4) VEワークショップ・セミナー（48時間以上）の認定

No.	セミナー名	認定日	法人名
1	バリューアップ研究所VE-WSS	7月1日	バリューアップ研究所 殿

8. 会員相互研鑽

1) 見学会・講演会等の開催

(1) 東日本支部

	事業所見学会		
開催日	6月8日	7月26日	2月14日
会場	国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構	アルテック(株) 東京テクニカルセンター	(株)日立製作所 横浜研究所
参加者	32名	31名	42名

	特別講演会
開催日	11月7日
会場	日本VE協会
講師	カディンチェ(株) 代表取締役社長 青木崇行氏
参加者	21名

(2) 西日本支部（関西地区）

	工場見学会
開催日	3月10日
会場	グローリー(株) 本社工場
参加者	19名

(3) 西日本支部（中四国・九州地区）

	工場見学会	事業所見学会
開催日	5月20日	7月14日
会場	ダイキョーニシカワ(株) 八本松工場	西日本旅客鉄道(株) 下関総合車両所
参加者	8名	13名

9. 広報活動

1) 協会Web Site及び Facebook による情報発信

- (1) 協会Web Siteを運営。定期更新を行い、V Eや本会に関する最新情報を積極的かつタイムリーに発信。
- (2) 協会Web Site内のコンテンツとしてブログを運営。V Eや本会に関心を持ってもらうことを目的に、職員が日常の出来事等とV Eを関係付けた形で纏めて発信。発信の強化を図り、ブログの内容は2月からFacebookにも掲載。
- (3) 協会 Facebook のページにもセミナー・大会等の詳細や本会からのお知らせ等をタイムリーに投稿し、Facebook ユーザーである本会関係者からの情報拡散を促進。また、V E L専用のFacebookページも開設し、特に就職活動を控えた学生をターゲットにSNSの活用を強化。

2) 電子メールによる情報発信

- (1) メールマガジン「V E情報メール」を毎月1回発行し、V Eや本会に関する最新情報を積極的に発信。また、大会・セミナー等の案内や参加者募集などPRにも積極的に利用。
- (2) 上記メールマガジンとは別に、改善度チェックの利用者やセミナー受講者のうち本会未入会及びV E資格を持っていない人に対して、協会Web Siteの情報や大会・セミナーの開催情報等を都度、電子メールにより発信。

10. 会 議

1) 定時総会の開催

開催日	6月15日
出席者	98名
議案	① 2015年度計算書類承認の件 ② 理事選任の件 ③ 「定款」及び「役員報酬規程」一部改定の件

2) 理事会の開催

	開催日	出席者	主な内容
第17回	5月11日	8名	① 2015年度事業報告書及び計算書類承認の件 ② 理事選任の件 ③ 第6期定時総会招集の件、など
第18回	6月15日	13名	① 会長（代表理事）及び業務執行理事選任の件 ② 常任理事選任の件 ③ 事務局長任命の件、など
第19回	9月1日	12名	① 2016年度顕彰者決定の件、など
第20回	3月17日	15名	① 2017年度事業計画書案及び収支予算書案承認の件 ② 2017年度資金調達及び設備投資の件、など

3) 「本部企画委員会」の開催

	開催日	出席者	主な内容
第44回	2月23日	7名	① 各委員会・各支部の2016年度概況と2017年度予定について ② 本会の2016年度概況と2017年度計画について

11. 会員数の異動

		会員数		入 会	退 会	増 減
		2016年 4月 1日	2017年 3月31日			
正 会 員	団 体	81	81	5	5	±0
	個 人	44	45	4	3	+1
賛助会員	団 体	87	90	8	5	+3
	個 人	68	73	12	7	+5
合 計		280	289	29	20	+9

以上